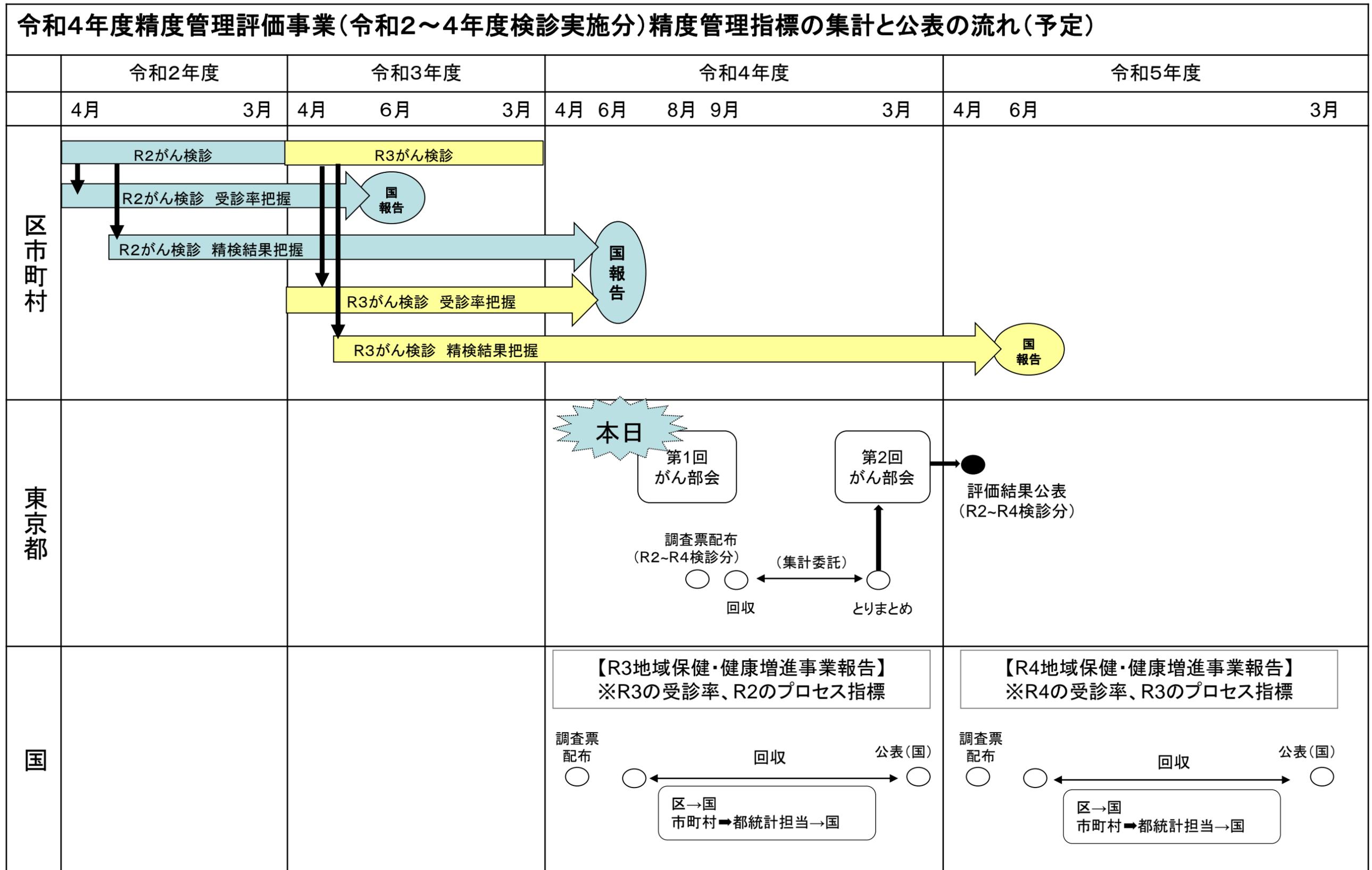


令和4年度
東京都がん検診精度管理評価事業
調査の実施について

令和4年8月2日

東京都福祉保健局 保健政策部
健康推進課

精度管理指標の集計と公表の流れ



調査票の種類(イメージ図)

I 科学的根拠に基づく検診

① 実施状況調査票

II 精度管理、III 受診率向上

検診の運用状況を評価

技術・体制的指標

② 国チェックリスト
(市区町村用)

検診の流れ

検診対象者へ
受診勧奨

検診

精検不要

精密検査

結果把握

プロセス
指標

受診率

要精検率

精検受診率

精検未受診率

精検未把握率

がん発見率

陽性反応適中度

③ 結果入力シート

検診の運用結果を評価

実施状況調査票の変更案(胃がん 指針外検査について)

変更前

⑩ この検査は、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査の受診対象者を選別する目的で実施していますか？
※選別目的でこの検査を実施した場合、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査を実施していても「指針に基づく検診」非該当となります。

はい いいえ

⑪ この検査を実施している目的 (自由記載)



変更後案

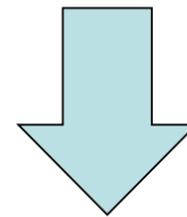
④ 設問2-①で選択した検査を受診する場合の設問1-①(胃部エックス線検査)及び設問1-⑥(胃内視鏡検査)の受診機会について

- 設問2-①で選択した検査を受ける場合であっても、その結果に関わらず、設問1-①・⑥の指針に基づく検診の対象者なら指針に基づく検査(胃部エックス線検査または胃内視鏡検査)を受けることができる
(設問2-①で選択した検査を受けることは、指針に基づく検診の受診機会に影響しない)
- 設問2-①で選択した検査の結果によっては、設問1-①・⑥の指針に基づく検査(胃部エックス線検査または胃内視鏡検査)を受けることができないことがある
(設問2-①で選択した検査の結果によって、指針に基づく検査の対象を決める)
- 設問2-①で選択した検査を受ける場合、その結果に関わらず、設問1-①・⑥の指針に基づく検査(胃部エックス線検査または胃内視鏡検査)の対象者であっても指針に基づく検査を受けることができない
(設問2-①で選択した検査を受けた時点で、指針に基づく検診を受けられなくなる)
- 設問2-①の検査対象者は、設問1-①・⑥の指針に基づく検診の対象者に当てはまることはないため、指針に基づく検診の受診機会に影響はない
- その他 →具体的にお書きください()

実施状況調査票の変更案(子宮頸がん 指針内検査)

変更前

子宮体がん検診	⑦ 子宮体がん検診を実施していますか？	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない ★へ
	*「実施している場合」は、⑧、⑨に記入をお願いします。		
	⑧ 対象者（例：「子宮頸がん検診受診者のうち医師が必要と認める方」）		
	⑨ 受診間隔（いずれかを選択）	<input type="checkbox"/> 2年に1回	<input type="checkbox"/> 1年に1回



変更後案

子宮体部の検査	⑥ 子宮頸がん検診受診者に子宮体部の検査を実施していますか？	<input type="checkbox"/> 実施していない	<input type="checkbox"/> 問診等で体がんの有症状が確認できた場合に実施している ※1 →設問2へ	<input type="checkbox"/> 左記以外の理由で実施している ※2 →設問2へ
	※1 子宮頸がん検診等の問診の結果、最近6月以内に、不正性器出血（一過性の少量の出血、閉経後出血等）、月経異常（過多月経、不規則月経等）及び褐色帯下のいずれかの症状を有していたことが判明した場合に実施する子宮体部の検査は、指針外検診にはあたりません。			
	※2 「左記以外の理由で実施している」場合は別シート「その他のがん検診実施状況調査票」に記入をお願いします。			

実施状況調査票の変更案(子宮頸がん 指針外検査)

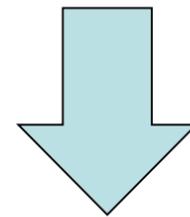
変更前

⑩ この検査は、細胞診の受診対象者を選別する目的で実施していますか？

※選別目的でこの検査を実施した場合、頸部細胞診を実施していても「指針に基づく検診」非該当となります。

はい

いいえ



変更後案

⑧ 設問2-⑤で選択した検査結果によって、細胞診対象者を決めていきますか。

例：検査の結果子宮頸がんリスクが低いと判断された場合にがん検診対象から外す

はい

→具体的にお書きください

()

いいえ

実施状況調査票の変更案(乳がん 指針外検査)

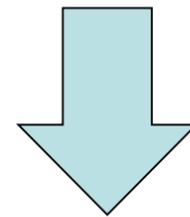
変更前

⑮ この検査は、マンモグラフィの受診対象者を選別する目的で実施していますか？

※選別目的でこの検査を実施した場合、マンモグラフィ検査を実施していても「指針に基づく検診」非該当となります。
す。

はい

いいえ



変更後案

⑧ 設問2-⑤で選択した検査結果によって、マンモグラフィ対象者を決めていますか。

例：視触診で異常があった場合のみマンモグラフィを実施する

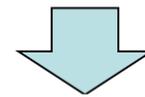
はい

いいえ

実施状況調査票の変更案(その他のがん検診)

変更前

⑦ 検査対象 (いずれかを選択)	<input type="checkbox"/> 前立腺がん <input type="checkbox"/> 喉頭がん <input type="checkbox"/> 口腔がん <input type="checkbox"/> 消化器(胃・大腸以外)がん
	<input type="checkbox"/> その他のがん *「その他のがん」の場合には、右欄に検査対象の記入をお願いします。
⑧ 検査方法 (いずれかを選択)	<input type="checkbox"/> PSA検査 <input type="checkbox"/> 視触診 <input type="checkbox"/> 間接喉頭鏡検査 <input type="checkbox"/> ファイバースコープ検査 <input type="checkbox"/> 細胞診 <input type="checkbox"/> 組織染色法 <input type="checkbox"/> 腹部CT検査
	<input type="checkbox"/> その他の検査方法 *「その他の検査方法」の場合には、右欄に検査方法の記入をお願いします。
⑨ 対象年齢 (例: 「50歳以上」「50歳以上の偶数年齢」「30、40、50、60歳」等)	



変更後案

⑦ 検査対象 (いずれかを選択)	<input type="checkbox"/> 前立腺がん <input type="checkbox"/> 喉頭がん <input type="checkbox"/> 口腔がん <input type="checkbox"/> 消化器(胃・大腸以外)がん <input type="checkbox"/> 子宮体がん※1
	<input type="checkbox"/> その他のがん (検査対象がん種:)
⑧ 検査方法 (いずれかを選択)	<input type="checkbox"/> PSA検査 <input type="checkbox"/> 視触診 <input type="checkbox"/> 間接喉頭鏡検査 <input type="checkbox"/> ファイバースコープ検査 <input type="checkbox"/> 細胞診 <input type="checkbox"/> 組織染色法 <input type="checkbox"/> 腹部CT検査
	<input type="checkbox"/> その他の検査方法 (検査名:)
⑨ 対象年齢 (例: 「50歳以上」「50歳以上の偶数年齢」「30、40、50、60歳」等)	

※1 以下の場合に行った子宮体部の検査は指針外検診には該当しませんので、本箇所での回答する必要はありません。

「子宮頸がん検診実施状況調査票 設問1-⑥」にご回答ください。

・子宮頸がん検診等の問診の結果、最近6月以内に、不正性器出血(一過性の少量の出血、閉経後出血等)、月経異常(過多月経、不規則月経等)及び褐色帯下のいずれかの症状を有していたことが判明した場合

結果の公表

東京都福祉保健局HP「とうきょう健康ステーション」のうち、「受けよう！がん検診」に掲載 (<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/>)

調査結果に関する公表データ(区市町村の状況)

●区市町村別がん検診の実施状況一覧

指針への対応状況について総括

●区市町村別精度管理評価事業結果シート(プロセス指標等一覧)

検査方式ごとに調査結果をもとに評価

- ・チェックリスト実施率に基づきレーダーチャートを作成
- ・評価結果として、プロセス指標・チェックリスト実施率に関するコメントを掲載

●精度管理の状況(7指標)

①受診率、②要精検率、③精検受診率、④陽性反応適中度、⑤がん発見率、⑥精検未受診率、⑦精検未把握率について高値順にそれぞれグラフを作成

●「事業評価のためのチェックリスト(市区町村用)」実施状況の評価結果及び回答一覧

- ・実施率の高値順にグラフを作成
- ・区市町村の各項目への回答一覧を作成

結果の公表(イメージ図①)

区市町村別がん検診の実施状況一覧

胃がん検診 実施状況(令和4年度)

区市町村	完全遵守	指針への対応状況										指針外の対象等				備考(変更点など)				
		検査方法		胃部エックス線				胃内視鏡				指針外の対象等								
		胃部X線	胃内視鏡	検査方式		対象年齢・間隔		検査方式		対象年齢・間隔		指針外の実施	検査方法	対象年齢	対象者選別目的での実施					
				集団	個別	50歳以上 ※40歳以上に 対し実施可	隔年 ※毎年実施可	集団	個別	50歳以上	隔年									
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区	◎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区	◎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区	◎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区	◎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区	◎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区	◎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
〇〇区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

区市町村別精度管理評価事業 結果シート

【〇〇区】令和4年度 東京都がん検診精度管理評価事業結果シート

R5.3公表

がん検診実施状況

＜国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況(R4年度)＞

対象年齢(40歳以上)	している
検査方法(便潜血検査(二日法))	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況(R4年度)＞

対象年齢以外の実施	していない
上記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況(R2年度)＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	52,288	55,640	107,928
対象指数(※)	31,162	33,161	64,324
受診者数	4,937	7,575	12,512

※対象者数は、該当年齢の人口に東京都調査に基づく対象人口率(市町村別:59.9%)を乗じた値

がん検診の精度管理指標の状況

※精度管理指標とは? http://cancer.ncc.go.jp/management/in_about/kyouka.html (国立がん研究センター社会と健康研究センターHP)

◆プロセス指標 (R2年度)

	とらへん健康(総合指標)	集団	個別	計
受診率	目標値50%	1.3%	18.2%	19.5%
要精検率	7%以下	4.9%	9.3%	9.0%
精検受診率	70%以上	80.0%	39.6%	41.0%
精検未把握率	10%以下	15.0%	46.5%	45.4%
精検未受診率	20%以下	5.0%	13.9%	13.6%
陽性反応適中率	1.9%以上	10.0%	2.0%	2.3%
がん発見率	0.13%以上	0.49%	0.19%	0.21%

【評価コメント】

＜受診率＞
目標値未達成のため、受診率50%を目指して取り組んでください。

＜精検受診率・未受診率・未把握率＞
未把握率が高値です。改善に向けた取組をご検討ください。
【取組例】精検結果報告書の導入、要精検者本人へのアンケート調査、要精検者への精検実施医療機関リストの提示等

＜要精検率＞
指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。(参考:低値、あるいは極端に高値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。)

＜陽性反応適中率・がん発見率＞
指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。(参考:低値、あるいは極端に高値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。)

◆技術・体制指標 (令和4年度「市町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果より)

【項目別実施率】



【評価コメント】

集 <精検受診把握・受診勧奨＞
「精検結果報告書(都統一様式)」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行います。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。□

＜検診機関の質の担保＞
「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標をフィードバックしましょう。

個 <精検受診把握・受診勧奨＞
「精検結果報告書(都統一様式)」の使用や報告書回収ルートを整備して未受診者に精検受診勧奨を行います。結果報告を依頼した医療機関をリスト化した精検機関一覧の要精検者への提示も有効です。□

＜検診機関の質の担保＞
「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の内容が遵守されたか確認しましょう。また、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標をフィードバックしましょう。

※レーダーチャートの各項目とチェックリストの照対はコラテラ https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/sensu/gen/tyokai/pdf/2022/chart_komoku.pdf

結果の公表変更(案1)

区市町村別精度管理評価事業結果シートにおける
プロセス指標を男女別から検査方式別(集団・個別)へ変更

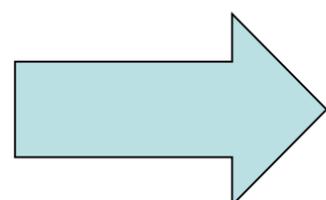
がん検診の精度管理指標の状況

※精度管理指標とは?

<http://canscreen.ncc.go.jp>

◆プロセス指標 (R1年度)

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	15.8%	22.8%	19.5%
要精検率	7%以下	11.5%	7.5%	9.0%
精検受診率	70%以上	42.0%	40.0%	41.0%
精検未把握率	10%以下	45.8%	45.0%	45.4%
精検未受診率	20%以下	12.2%	15.0%	13.6%
陽性反応適中率	1.9%以上	2.7%	1.9%	2.3%
がん発見率	0.13%以上	0.30%	0.15%	0.21%



がん検診の精度管理指標の状況

※精度管理指標とは?

<http://canscreen.ncc>

◆プロセス指標 (R2年度)

	あるべき値 (許容値等)	集団	個別	合計
受診率	目標値50%	1.3%	18.2%	19.5%
要精検率	7%以下	4.9%	9.3%	9.0%
精検受診率	70%以上	80.0%	39.6%	41.0%
精検未把握率	10%以下	15.0%	46.5%	45.4%
精検未受診率	20%以下	5.0%	13.9%	13.6%
陽性反応適中率	1.9%以上	10.0%	2.0%	2.3%
がん発見率	0.13%以上	0.49%	0.19%	0.21%

結果の公表変更案(案2)

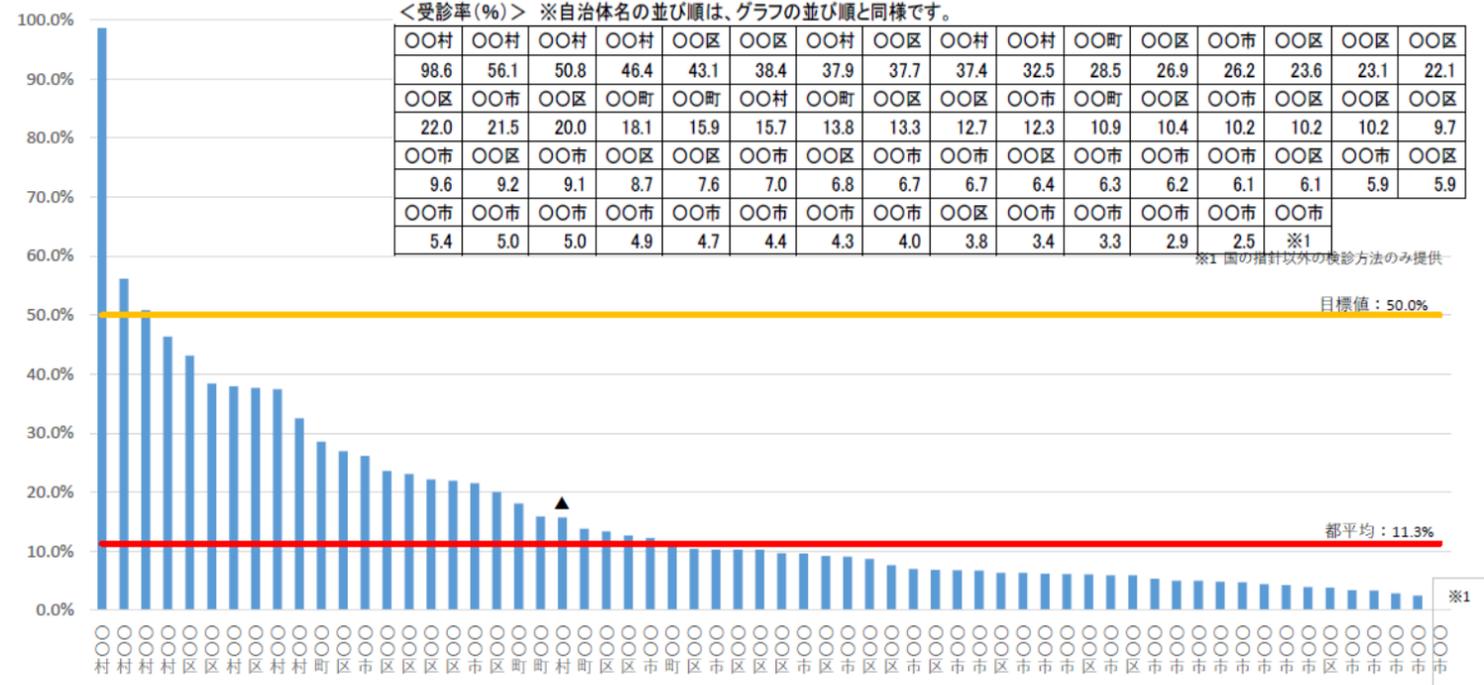
区市町村別精度管理評価事業結果シートにおけるプロセス指標に対する評価コメント

指標	掲載の基準	コメント内容（昨年度まで）	コメント内容（変更案）
受診率	受診率 ≥50%	目標値を達成しています。 引き続き受診率の向上に取り組んでください。	変更なし
	受診率 <50%	目標値未達成のため、 受診率50%を目指して取り組んでください。	
精検受診率 精検未受診率 精検未把握率	精検受診率 ≥90%	目標値を達成しています。 引き続き精検受診率の向上に取り組んでください。	変更なし
	70% ≤ 精検受診率 <90%	許容値を満たしています。 目標値90%の達成に向けた取組の強化をご検討ください。	
	精検受診率 <70% かつ 未受診率 0%	未受診者の把握が課題です。 精検受診勧奨等により、精検受診率向上及び未受診者の把握に努めてください。	未受診者の把握が課題です。 未受診者の把握による精検受診率向上に努めてください。 【取組例】精検受診勧奨・再勧奨の実施、要精検者への精検実施医療機関リストの提示、精検結果報告書の導入、 要精検者本人へのアンケート調査等
	精検受診率 <70% かつ 未受診率 < 未把握率	未把握率が高値です。改善に向けた取組をご検討ください。 【取組例】精検結果報告書の導入、要精検者本人へのアンケート調査、 要精検者への精検実施医療機関リストの提示等	変更なし
精検受診率 <70% かつ 未受診率 > 未把握率	未受診率が高値です。改善に向けた取組をご検討ください。 【取組例】精検受診勧奨・再勧奨の実施、要精検者への精検実施医療機関 リストの提示等		
要精検率	— (必ず掲載)	指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。 (参考：許容値に比べ極端に高値又は低値の場合は、 受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。)	指標値を注視し、極端な高値あるいは（許容値を満たしていても）極端な低値がある場合は、受診者集団におけるがん有病割合の偏り（年齢層や、 （非）初回受診者の割合の偏り、有症状者の検診受診等）や、要精検の判定基準の問題や、精検受診率の低値等が原因として想定されます。改善に向けた取組をご検討ください。 【取組例】まずは受診者の特性を分析し、有症状者を診療へ誘導する体制の整備や、受診率の低い層への重点的な受診勧奨を検討する。 次に検診機関の検査方法、検査体制、判定基準等を確認し、 不適切な点がある場合は、改善する。 また精検受診率が低い場合は、向上を目指す。
がん発見率 陽性反応適中度	— (必ず掲載)	指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。 (参考：低値、あるいは極端に高値の場合は、受診者構成の偏りや、 検査精度が低いことが考えられます。)	

結果の公表(イメージ図②)

精度管理の状況
(受診率を含む7指標)

胃がん検診 受診率(令和3年度、男女計)(%)



「事業評価のためのチェックリスト
(市区町村用)」実施状況の
評価結果及び回答一覧

※右図は評価結果

1-1-1 胃がん検診(胃部エックス線)/集団検診

